

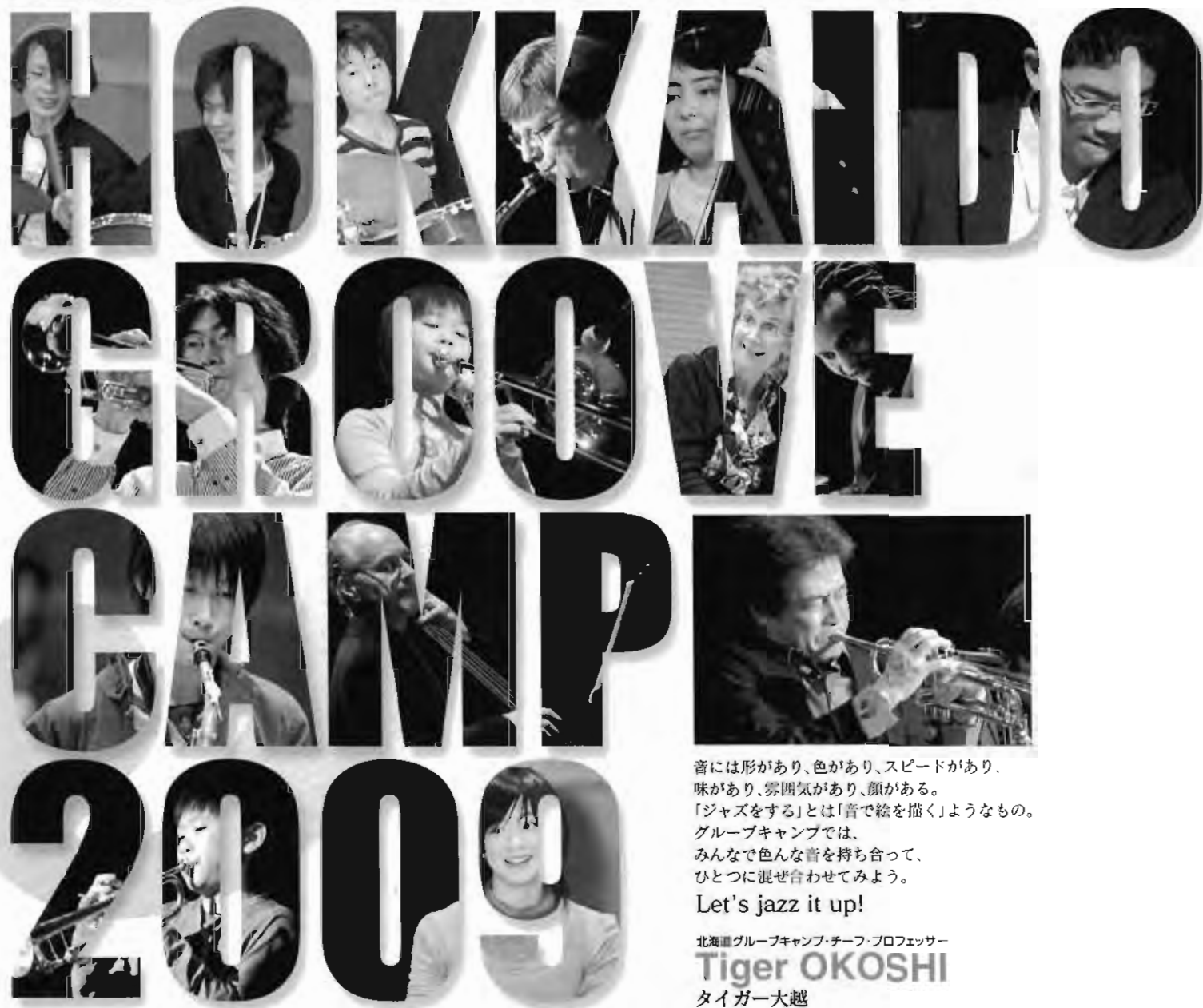


バークリー音楽院タイアップ

北海道グルーブキャンプ2009

受講生募集パンフレット

BERKLEE COLLEGE OF MUSIC TIE UP



音には形があり、色があり、スピードがあり、
味があり、雰囲気があり、顔がある。
「ジャズをする」とは「音で絵を描く」ようなもの。
グルーブキャンプでは、
みんなで色んな音を持ち合って、
ひとつに混ぜ合わせてみよう。

Let's jazz it up!

北海道グルーブキャンプ・チーフ・プロフェッサー
Tiger OKOSHI
タイガー大越

2009

3/29sun~4/4sat

開催期間/2009年3月29日(日)~4月4日(土)
[6日間(4月1日(水)は休講日)]

会場/札幌芸術の森 アートホール

主催/札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)

後援/バークリー音楽院、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道吹奏楽連盟、札幌地区吹奏楽連盟、北海道・マサチューセッツ協会



北海道吹奏楽連盟



バークリー音楽院タイアップ 北海道グループキャンプ2009 募集要項



Berklee College of Music バークリー音楽院 (www.berklee.edu)

1945年創立のバークリー音楽院は、世界最大の独立した音楽大学であり、現代音楽に関する世界初の教育機関でもある。3,800人の学生と460人の教授陣は、実現し得るもっとも完璧な教育環境の中、相互に影響しあいながら、現代音楽を学問として追求し、さまざまな課題に挑んでいる。ボストンの海に近い恵まれたエリアに立地する校舎で、学生たちは、作曲、演奏、レコーディングといった音楽的素養を磨くと共に、将来の成功につながる音楽ビジネスについて学んでいる。

大学の創設以来の主要目標の一つは、現代音楽を通じて国際理解力を養うことである。バークリーには世界のあらゆる国々から若い音楽家たちが集まってくるため、結果として国際大学となっている。バークリーにおける外国人学生の比率は26%と、米国の全大学の中でトップであり、その出身国は70を超える。

バークリーでは4年間で学位を取得する音楽家養成コースを設置している。カリキュラムは、パフォーマンス、作曲、プロダクション・エンジニアリング、フィルムスコアリング、音楽ビジネス・マネージメントや、音楽教育など、多岐に渡る。96年には音楽療法(セラピー)のコースも新規に開設された。

バークリーの多くの卒業生は、傑出した音楽のプロフェッショナルとして知られている。音楽プロデューサーのクインシー・ジョーンズ、ビブラフォン奏者のゲイリー・パートン、ギタリストのジョン・スコフィールド、映画音楽家のアラン・シルバストリ、サクソフォン奏者のブランフォード・マルサリスらも、バークリー卒業生として知られる。

森に春を告げる…バークリーの風。

バークリー音楽院は1945年に創立された世界最大の私立音楽大学で、

常に最先端の音楽教育を実践し、世界の多様な音楽シーンに数多くの一流アーティストを配しています。

2009年春、札幌芸術の森ではバークリー音楽院の協力のもと、

同校から5名の教授陣を招聘し、次代を担う若い世代を対象とするジャズセミナーを実施します。

これまで同様参加者の皆様にバークリー流の教育プログラムを通して「音で絵を描く」楽しさを体験していただくことにより、

世界に通じる音楽教育の潮流を感じ、グローバルな感性を身に付けるきっかけとしていただけるものと思います。

□バークリー音楽院・来札講師陣

- タイガー大越(バークリー音楽院金管楽器学部教授/北海道グループキャンプ・チーフ・プロフェッサー)
- デヴィッド・クラーク(バークリー音楽院ベース学部教授)
- ジョアン・ブラッキーン(バークリー音楽院ピアノ学部教授)
- ヨーロン・イスラエル(バークリー音楽院パーカッション学部教授)
- ジム・オドグレン(バークリー音楽院パフォーマンス副学部長/木管楽器学部準教授)

※講師は変更になる場合がございます。ご了承ください。

□カリキュラム

- パート別楽器クリニック
- 読譜レッスン
- アンサンブルレッスン
- アドリブのための音楽理論
- イヤーレッスン
- ファイナルコンサート

※レッスンには通訳が付きまゝ。 ※カリキュラムは変更となる場合があります。

□募集パート及び定員

- | | | | |
|----------|-----|----------|----------|
| ●アルトサクソ | 20名 | ●ドラム | 15名 |
| ●テナーサクソ | 20名 | ●パーカッション | 5名 |
| ●バリトンサクソ | 5名 | ●ベース | 10名 |
| ●トランペット | 20名 | ●ピアノ | 15名 |
| ●トロンボーン | 20名 | | (合計130名) |

□参加対象

原則として、2009年4月1日現在で10歳以上の男女

※演奏経験年数は問いませんが、初心者とは不可とします。

□受講料

各パートとも参加費 40,000円 [税込]

※ただし、過去のバークリー賞受賞者は、参加費が半額にて受講できます。

□受講申込みおよびオーディションについて

公式HP「SJF Square」(<http://www.sjf.jp>)内の専用エントリーフォームにて、必要事項を入力し、2008年10月31日(金)までに送信ください。

申込者に対し、2009年1月10日(土)・11日(日)のいずれかに、アンサンブル編成のためのオーディションを行います。(オーディション受験料2,000円)

※ご記入いただいた個人情報は、今回の受講申込み、また今後の「北海道グループキャンプ」並びに(財)札幌市芸術文化財団が主催する事業に関するお知らせ以外の用途には使用いたしません。

個人情報のお取り扱いに関する詳細は、ホームページ内の「プライバシーポリシーおよび個人情報の保護について」の項目をご覧ください。

※オーディションの詳細については、応募者に対し後日ご案内いたします。

※応募者が各パートの定員を上回った場合、このオーディションは参加者選考を兼ねたものとなります。

□札幌市外からの受講希望者の方へ

札幌市外にお住まいの方など、自宅から通っての受講が困難な場合、会場近くの宿泊施設の手配と、会場間のバス移動を斡旋いたします。

斡旋を希望する方は、エントリーの際、項目にチェックを付けてください。宿泊施設の詳細や料金は、希望者に対し後日ご案内いたします。

□レッスン見学について

アートホールのアリーナと大練習室で行われるレッスンに限り、有料で見学いただけます。

見学を希望される方は、当日受付にてレッスン内容をご確認のうえ、お申し出ください。

見学期間(1日券) / 大人 2,000円 / 高校生以下 1,000円 [税込]

※レッスン中は写真撮影・録音・録音および携帯電話の使用は固くお断りいたします。

※レッスンの妨げになる場合がございますので、小さなお子様の見学はご遠慮ください。



Tiger OKOSHI

タイガー大越

1972年、関西学院大学卒業とともに結婚、新婚旅行で渡米し、そのままパークリー音楽院に入学、首席で卒業。マイク・ギブス・オーケストラ、パディー・リッチ・オーケストラに参加した後、1976年、ゲイリー・バートン・グループのレギュラーメンバーに抜擢される。ポストンミュージックアワード、ビクターヒット賞等数々の賞を獲得したバンドTiger's Bakuのリーダーとしてニューポート、モントリオール等のジャズフェスティバルに出演し、マイクスターン、ヴィンスカリウタ、ビルフリゼール等を輩出。日本人として、JVCビクター音楽出版とインターナショナル契約を結んでいる数少ないうちの一人でもある。JVCビクターから7枚のリーダーアルバムを発売。中でも「Face to Face」はキャンペーンのコマーシャルで大ヒットした。2007年4月20日、アメリカ・メジャーリーグ、ポストンレッドソックスへ入団した松坂大輔投手を歓迎し、日本人初アメリカの国歌をゲーム前に演奏、話題を呼んだ。また6月にはブランフォード・マルサリス、デルフィオ・マルサリスらと共演。現在パークリー音楽大学教授。国際トランペット協会や国際ジャズ教育協会などにゲストと出演。またパークリー音楽大からは著名卒業生アワード、教育者エクセレンスアワード、2007年国際費財者アワード等を受賞している。2008年5月ボストン日本協会から日米親善に貢献した人物としてジョン・セイヤー賞を受賞。また同月日本では、ゲストに日野皓正、山中千尋を迎え、ジェネオンA-60Jazzレーベルから新作CD「Tiger Okoshi Plays Standards」を発売。



David CLARK

デヴィッド・クラーク

1952年に生まれ、フィラデルフィアでジャズを学びながら育った彼は、もとはドラマーだったが、ベースへと転向、フィラデルフィア交響楽団のヘンリー スコットのちとクラシックを学び、またリチャード・デイヴィスやエディー・ゴメスのもとでジャズを学んだ。彼は70年代を、シンシナティのダブル ベース・インターナショナル・スクールでジャズ専任講師として勤め上げ、この間、国家ジャズ芸術教育賞を2度も受賞した。その後、ボストンで活躍しながら、ニューイングランド音楽院で作曲の学士号と修士号と取得した。現在はパークリー音楽院にて、ベースとジャズ即興を教えている。同時に、パークリー・オール・スターズと共に、クリニック指導者兼演奏者として、世界中を回っている。また多作なジャズ作曲家でもあり、彼の楽曲はゲイリー・バートン、サース・ミラー、ディック・ジョントン、そしてストレンジ・パット・トリオといったアーティストによってレコーディングされている。彼はジャズ作曲部門で、マス・カウンスル芸術大賞を受賞している。



JoAnne BRACKEEN

ジョアン・ブラッキー

天才的ジャズピアニストとして40年以上にわたるキャリアを持ち、約80回のヨーロッパツアーや、アジア、アメリカ全土での演奏経験を誇る彼女は、カリフォルニア州に生まれ、幼少からピアノを始めたが、その大部分は他人に教えられたのではなく、好きな演奏家のスタイルを真似るなどして、自分自身で習得したものだ。

1965年にニューヨークに移ってからは、アート・ブレイキー率いる「メッセンジャーズ」初の女性メンバーとなり、その後もスタン・ゲッツ、テクスター・コードンやファラオ・サンダースらと共演。今日までに、100以上の自作曲を含む25枚のアルバムでリーダーを務めている。

パークリーでは94年から、個人レッスン、修士課程、そしてアンサンブルクラスにて教え、パークリーの中でもトップクラスの学生に的確な示唆を与えている。並行してニューヨークでも授業を持ち、ケーブルテレビで自身の番組を持っている。

またアーティストとしての活躍も続け、常に絶賛されている。自身のCD「ピンク・エレファント・ミュージック」は、2000年にグラミー賞にノミネートされた。



Yoron ISRAEL

ヨーロン・イзраエル

シカゴ生まれの彼は、ドラム、パーカッション、ビブラフォン、作曲のプロであり、ジャズのみならず、ラテン、ゴスペル、ファンク、R&Bからオーケストラまで幅広いジャンルに精通し、「すべての人が楽しめる音楽」をコンセプトに活躍している。

1986年にルーズヴェルト大学で学士号、97年にラトガーズ大学で修士号を取得し、現在はパークリーでパーカッション学部の教授として教鞭を取る。同時に、音楽出版・制作会社「ロンジャ・ミュージック」のオーナー兼社長でもあり、自身が率いるバンド「ハイ・スタンダード」、「コネクション」や「オーガニック」の曲を含め、多くをリリースしている。

また、ソニー・ロリンズ、ホラス・シルバー、トニー・ベネット、ベニー・ゴルソン、シカゴ市民楽団などのレコーディングに参加。最近ではデヴィッド・ファット・ニューマン、ジェイ・ホガード、ビル・メイズらと国際的に活躍している。さらに、米国内はもちろん、アジアにおけるジャズフェスティバルやジャズキャンプに講師として参加し、クリニックやワークショップを行っている。



Jim ODGREN

ジム・オドグレン

アルト・サクソフ奏者の彼は、テナー、ソプラノ両サクソ、そしてフルートも演奏する。9歳でサクソを始め、マサチューセッツにあるパブリック・スクールの音楽コースで学び、成長した。高校卒業後、1972年から76年までパークリー音楽院に在籍、1978年には、ゲイリー・バートン・カルテットに参加した。

1982年、パークリー音楽院にてアンサンブルの教員となった。現在はパフォーマンス学部と木管楽器学部の双方で教鞭を取っており、過去2度にわたって、パークリーから教育に関する賞を受けている。1989年には即興作品に対して「学部長賞」が、95年にはパークリー50周年記念事業の一環で、彼の教育への貢献を賞賛するメダルが授与された。

1987年以来、パークリーの後援のもと、南北アメリカ各国、ヨーロッパ、日本等で行われたクリニックに講師として参加、サクソ学、ジャズ理論、ジャズ即興、そしてジャズ作曲を教えている。ジョージ・ガルゾーネやジョー・ロヴァノも、共に講師として参加した。

□パークリー賞

参加期間を通じて特に優秀と認められる受講者に対し、2009年または2010年に、パークリー音楽院で実施される5週間の夏期セミナーに奨学生として参加できる特別推薦の授与を行います。(資格は原則として15歳~18歳/但し、受講に関しての手続きは、受賞者ご本人で行っていただきますのであらかじめご了承ください。)



北海道グループキャンプ
2007
パークリー賞受賞者

曾根 麻央

トランペット
千葉県立小金高等学校 2年

タイガー大越先生との最初の出会いは、日本トランペット協会のマスター・クラスを受講した時でした。そこで先生に勧められて参加したこの北海道グループキャンプ2007で、僕はパークリー賞を受賞することが出来ました。そして意図的アメリカで音楽の勉強を5週間出来るようになったことを、とても嬉しく誇りに思っています。

グループキャンプではタイガー先生のクラスでした。初めて練習室へ行った時、とても驚き感動しました。僕と同年代でジャズを志す素晴らしい仲間達がいたからです。両年代で一緒にジャズを演奏する仲間と出会えたことは本当に良かったです。

授業では毎回タイガー先生の課題(リズム練習や曲の聞き取り等)をこなしました。とても勉強になりました。先生は筋肉の使い方も詳しく教えて下さいましたので、僕は以前より力を抜いて吹けるようになりました。休憩時間には、みんなでセッションしました。とても刺激的です。

最終日のライブは、タイガー先生とメンバー全員が一本となりました。先生の作曲でとても感動的な曲でした。その曲を演奏している時、僕は夢の中にいる気分でした。

僕はこのグループキャンプに参加できて本当に良かったです。今年7月から行くパークリー音楽院でさらに多くのことを学び、日本に戻るとは音楽家としても人間としても大きくなってほしいです。

<http://www.myspace.com/sonemao>



北海道グループキャンプ
2007
パークリー賞受賞者

石若 駿

ドラムス
東京芸術大学音楽学部附属
音楽高等学校打楽器専攻 1年

僕はグループキャンプ2006と2008の2回受講しました。

始め、なんて楽しくて素晴らしい6日間なのだろう、と思いました。

それは、自分と同じJAZZが好きで、音楽が好きなお友達が全国から札幌芸術の森に集い、共に音楽を学べられるからです。さらに教授陣の指導からも色々なことを吸収し、自分の能力を高めることもできます。

主に僕とヨーロンさんと、タイガーさんにお世話になりました。ヨーロンさんはドラムのクラスで、毎朝開演前コーナーを設けてどんな質問でも答えていただけます。そしてJAZZのみならず、世界中の音楽、リズムをドラムを通して理解され、とても勉強になります。

タイガーさんのアンサンブルクラスでは、JAZZの歴史、理論など、実際に演奏しながら学ぶことができ、とてもおもしろいです。アンサンブルの授業では、その場でより良い演奏をし、音楽を磨り上げていくということが魅力です。

最終日のライブはそれらの授業の集大成でなんともいえない心地よさが僕の中心にはあります。

常に新しい出会いがあって、新しいことを学べる素晴らしいJAZZ漬けの日々です。

<http://www.myspace.com/shunishiwaka>

パークリー音楽院タイアップ 北海道グループキャンプ2009

エントリー用紙 ※このページを切り取り、ページ下部に記載の事務局まで郵送してください。(2008年10月31日(金)必着)
※オーディション受験時のために、記入したエントリー用紙をコピーし、ご自身で保管されることをお勧めします。
(インターネットを利用できない場合のみ)

●受講希望パート(楽器名):		
●受講希望レベル(○で囲む): 初級 / スタンダード / プロ志望 / 特に希望なし		
1)初級:コードやスケールの知識がなく、読譜に自信がなく、アドリブの経験が少ない。 2)スタンダード:コードやスケールのある程度の知識があり、読譜も中程度。ブルースなどの簡単なアドリブもできる。 3)プロ志望:高度なテクニックを持ち、ジャズ理論の知識もある。自分の個性が音楽を通して出始めている。		
(ふりがな)		
●氏名:	●性別:	
●生年月日: 西暦 年 月 日	●年齢: 歳(2009年4月1日現在)	
(ふりがな)		
●現住所:		
●TEL:	●FAX:	●携帯:
●e-mailアドレス:		(常時連絡が可能なもの)
●在学学校名: (正式名称) (既卒者は最終学歴)	●学年: 年生 (現在の身分:)	
●音楽活動: (所属クラブや課外活動、音楽スクールなど)		
●音楽歴: 年	●受講希望楽器の経験年数: 年	
●英語能力(○で囲む): ほとんどできない / 日常会話程度 / かなり理解できる / 母国語同様		
●趣味・特技:	●健康状態:	
●北海道グループキャンプ2009 受講の志望動機		
●期間中の宿泊斡旋(○で囲む): 希望します / 希望しません		

●お問い合わせ

北海道グループキャンプ事務局

〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75 (財団法人 札幌市芸術文化財団 芸術の森事業部 事業課内)

TEL.011-592-4125 FAX.011-592-4120 URL:www.sjf.jp